

「落石対策工の設計法と計算例」講習会

主催：(公社)地盤工学会関西支部

協賛：(公社)土木学会関西支部・(一社)日本応用地質学会関西支部

(一社)建設コンサルタンツ協会近畿支部

(一社)関西地質調査業協会

※協賛団体は予定です。

1968年の「飛騨川バス転落事故」を契機に落石対策が積極的に行われてきましたが、落石危険箇所が広範囲に存在することに加え、斜面風化による危険箇所の増加で落石対策が追いつかない状況にあります。本年でも島根県や熊本地震において落石による被害が発生し、落石対策の必要性が再認識されました。

落石に対する安全性を高めてゆくには、落石の発生域、発生要因を精度良く特定し、落石の速度、落石の危険度を合理的に評価した上で、エネルギー吸収性能や耐衝撃性能に優れたコストパフォーマンスの高い落石防護工を採用するなど新技术の活用が必要です。

本講習会では、「落石対策工の設計法と計算例」をテキストとして、落石問題に関する最新の調査結果や研究成果から得られた知見、新技术などに基づき、より実践的な調査・予測・対策工設計について解説するものです。

※本講習会は、10月に東京で開催される「落石対策工の設計法と計算例講習会」に準じた内容となっております。

記

(1)開催日時：平成28年12月14日(水) 10:00～17:30

(2)場 所：エル・おおさか(大阪府立労働センター) 南1023会議室(南館)

〒540-0031 大阪府大阪市中央区北浜東3-14

(3)参加費：会員10,000円、非会員13,000円、学生会員3,000円、協賛団体の会員12,000円

(消費税、配布資料代を含む、テキスト代別)

テキストは、「落石対策工の設計法と計算例」(平成26年12月発行)を使用します[価格(税抜き):会員5,220円、定価(非会員)5,800円]。テキストが必要な方は、学会のショッピングサイト(<http://www.jgs-shopping.net/>)より事前にご購入ください。なお、当日会場での販売はございません。また、当日の講義スライドのコピーを資料として配布いたします。

(4)定 員：70名

(5)プログラム(案)

時 間	内 容	講 師
10:00～10:40(40min)	落石事例と落石調査	上野 将司【応用地質株式会社】
10:40～11:20(40min)	落石の運動	右城 猛【株式会社第一コンサルタンツ】
11:20～12:00(40min)	落石シミュレーション	楠本 雅博【株式会社第一コンサルタンツ】
12:00～13:00	昼休憩	—
13:00～13:50(50min)	落石対策工の選定と予防工の設計	加賀山 肇【日本プロテクト株式会社】
13:50～14:40(50min)	落石防護ネットの設計	木下 尚樹【愛媛大学 大学院理工学研究科】
15:00～15:50(50min)	落石防護柵の設計	小島 明德【株式会社ビーセーフ】
15:50～16:40(50min)	落関防護擁壁の設計	右城 猛【株式会社第一コンサルタンツ】
16:40～17:30(50min)	落石防護補強土壁の設計	吉田 眞輝【前田工織株式会社】

(6)G-CPD ポイント : 6.0

(7) 申込み期限 : 平成 28 年 12 月 7 日 (水)

(8) 申込み方法 : 参加ご希望の方は、①氏名、②所属、③所属住所、④所属先電話番号・FAX・メールアドレス、⑤会員・非会員の別をご記入の上、申込期限までに FAX または E-mail でお送りください。申込受付後、参加証・請求書・案内図および郵便振替用紙をお送りいたします。なお、参加費の納入は郵便振替(銀行振込・現金書留可)でお願いいたします。

(9) 申込み先 : (公社)地盤工学会関西支部

〒540-0012 大阪市中央区谷町 1-5-7 ストークビル天満橋 801 号

TEL : 06-6946-0393 FAX : 06-6946-0383

E-mail : office@jgskb.jp URL : <http://www.jgskb.jp>